



パンフレットNo. EE002
2023年7月改訂
工業用

非水系顔料分散剤

ロビスゲン D-10 (LOVISGEN D-10)

ロビスゲンD-10は特殊脂肪酸縮合物を成分とする非水系顔料分散剤です。塗料、プラスチック用分散剤として優れた効果を発揮します。

性質・性状

外観 淡黄色粘稠液体
不揮発成分 99%以上
粘度 2500 ± 1000 cps (25℃)
(上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません)
溶解性

ミネラルスピリット	可溶	MEK	可溶
トルエン	可溶	n-ブタノール	可溶
キシレン	可溶	I P A	不溶
酢酸エチル	可溶	メタノール	不溶

特徴

1. 高濃度無機顔料分散液に対して優れた分散・減粘効果を発揮し、作業性の向上を図ることができます。
2. プラスチック成型品製造時、ロビスゲンD-10の添加によりプラスチック粘度を低下させることができるため、最終製品の物性に影響を与えることなく加工性を向上させることができます。
3. 揮発性有機溶剤、強酸性物質等の有害物質を含んでおりません。

使用上の注意

冬期保管時、製品が凝固した場合には40℃程度に加温し、均一に攪拌・混合したのちご使用下さい。

ロビスゲンD-10性能試験

I 顔料分散性試験

スラリー組成

顔料	75 g
ペガソール3040 (モービル石油製)	X g
顔料分散剤	Y g
100 g	

顔料	酸化チタン：タイペークR-820 (石原産業製) 軽質炭酸カルシウム：タマパール-111 (奥多摩工業製)
顔料分散剤	1. ロビスゲンD-10 2. 他社品
攪拌機	T. K. オートホモミキサー (特殊機化工業K.K.製)
攪拌条件	1000 rpm×30分 (室温)
粘度測定条件	BL粘度計 (ローターNo.2、30回転、25℃)

結果

図1 酸化チタン (タイペークR-820) 分散液に対する減粘効果

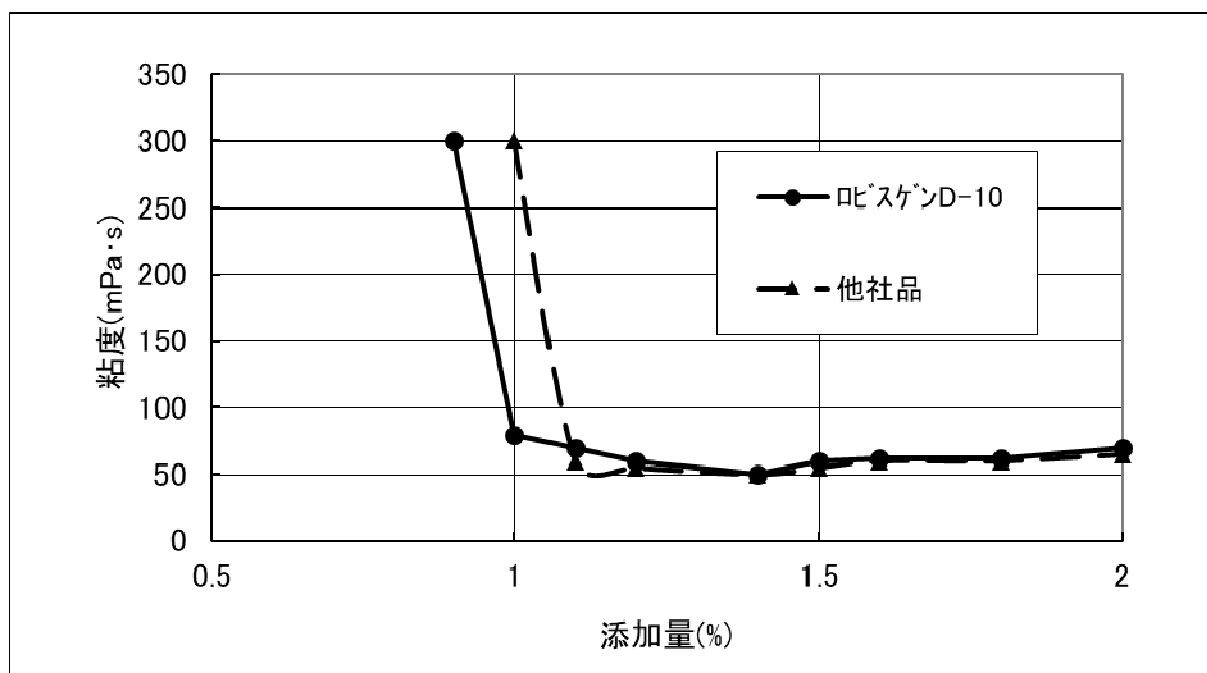
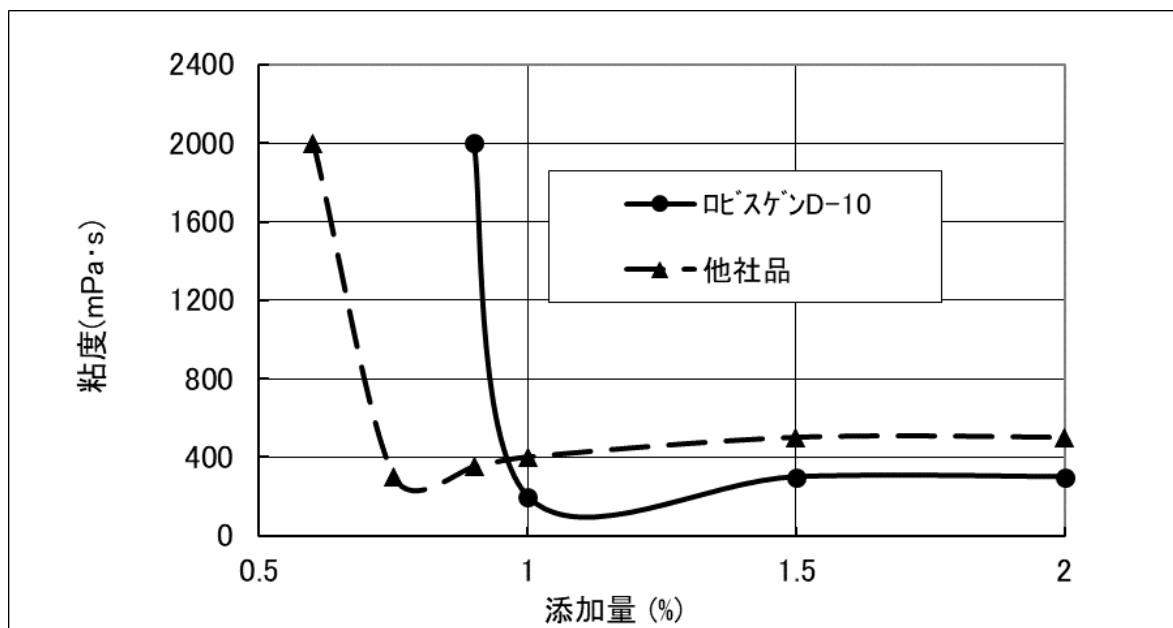


図2 軽質炭酸カルシウム（タマパールー111）分散液に対する減粘効果



II 熱安定性試験

試験方法

直径90mmのガラスシャーレに分散剤15gを流し込み、循環式乾燥機にて220℃、10分間加熱した後、着色の度合をガードナー法（基準油脂分析試験法参照）にて判断した。

結果

顔料分散剤	色相（ガードナー）	
	加熱前	加熱後
ロビスゲンD-10	3～4	8
他社品	8	11～12

注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。



入 目

1 5 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（SDS）」を用意しております。
併せてご活用下さい。